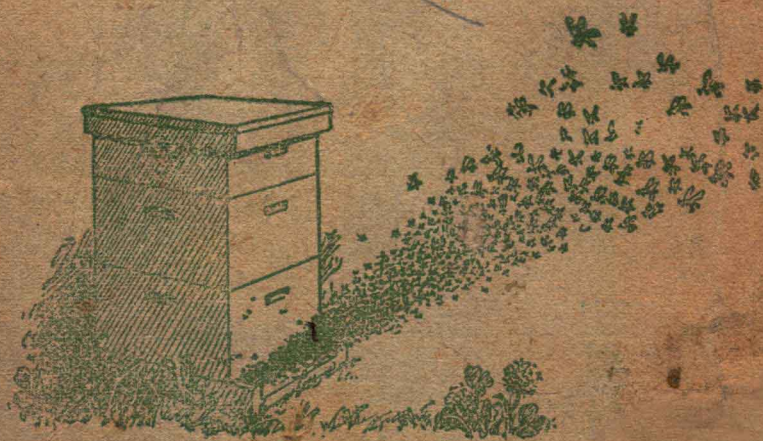


最新圖驗

# 養蜂學

開宗義著

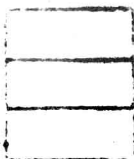


農業進步社發行

最 新 實 驗

# 養 蜂 學

關 崇 義 編



農 業 進 步 社 發 行

昭和十四年五月十五日印刷  
昭和十五年十二月十五日四版

版權所有

最新  
實驗

養蜂學

定價一圓八角  
郵費六分

自

編輯人 關 崇 義  
旅順市善通寺町三

發行人 耿 立 德  
旅順市善通寺町三

印刷人 鄭 紹 武  
旅順市善通寺町三

印刷所 農業進步社印刷部  
旅順市善通寺町三

發行所 農業進步社

電話 七九一  
振替口座六〇三四番

## 卷頭語

編者蓄志很久，想用簡易的文字，通俗的詞句，來寫一本售價低廉爲人人購買力所能及的新實驗養蜂的著述，以便增進生產和實現養蜂利益的問題，完全表現出來。今日這本書既能獻給讀者之前，編者的素願，便已得償了。

處在氣候溫暖，四週環繞充足蜜源的滿洲養蜂事業，誠是唯一的良好家庭的副業，讀者們對這本著述，若能澈底研讀和實驗後，定能使各個都更生起來，充滿了豐富的生產力，堅忍力，去享受大自然的一切和養蜂成功的勝利。

生活力，生產力，幸福，愉快，成功這就是人生的幾種無價之寶！若能本大公無私的真精神，堅忍到底，努力向生產開發的目的地邁進，那成功的勝利就在目前，同時也就得到人生愉快和幸福的源泉。

編著「最新實驗養蜂學」之目的，乃是提倡生產開發和斯業者的成功階梯。它包含許多科目，如養蜂歷史；蜜蜂生活；始業知識；管理方法；人工養王；分封；採蜜，越冬；設備；滿洲蜂的改良等，都是包括養蜂知識最重要的，以供業者之一助。

本書之編著，幸賴本社編輯劉長安君之校正，與潘陽孫景明先生表皮之題字，增光本書內容不少，謹以至誠，用表謝意！更因出版倉卒，難免舛錯，尙希海內同志，有以教之是幸。

一九三九·五·一

關崇義序於旅順

最新 養蜂學 目次

第一篇 養蜂大意	一
一 養蜂的歷史	一
二 養蜂事業的重要	三
三 養蜂的利益	四
四 養蜂的要素	五
A 學識	六
B 經驗	六
C 地位	六
D 蜂種	七
第一篇 蜜蜂的組織	七
一 蜂王	八
二 雄蜂	一〇
三 職蜂	一一

第三篇 蜜蜂的生理

四	蜜蜂發育表	(一三)
一	頭部	(一四)
二	眼	(一五)
三	觸角	(一六)
四	口及舌	(一七)
五	胸	(一八)
六	翅	(一八)
七	腿	(二〇)
八	腹	(二〇)
九	皮膚	(二二)
十	消化器官	(二四)
十一	血管系	(二六)
十二	神經系	(二六)
十三	呼吸器	(二九)
十四	筋肉	(三〇)

十五	脂	防	.....	(二)
十六	嗅	覺	.....	(三)
十七	排蠟器	管	.....	(三)
十八	蜂王生殖器		.....	(三)
十九	雄蜂生殖器		.....	(三七)
二十	螫針及毒囊		.....	(三八)
廿一	蜂王交尾		.....	(三九)
<b>第四篇 蜜蜂的生活狀況</b>				
一	營造巢脾		.....	(四三)
二	蜂王產卵		.....	(四六)
三	幼蟲的飼育		.....	(四七)
四	蜂王侍衛蜂		.....	(五〇)
五	巢箱保護蜂		.....	(五二)
六	巢箱清潔與衛生		.....	(五三)
七	雄蜂及殘蜂的淘汰		.....	(五四)
八	盜蜂	附管理法	.....	(五五)

九 蜂之害蟲及敵害附管理法.....(五)

第五篇 蜜蜂的採集.....(五)

一 蜜.....(五)

二 花 粉.....(六)

三 樹 膠.....(六)

四 水.....(六)

五 蟲蜜及樹液蜜附表.....(六)

六 雜 物.....(六)

第六篇 蜂 種.....(六)

一 滿 洲 種.....(六)

二 日 本 種.....(六)

三 美 國 黃 金 種.....(六)

四 意 大 利 種.....(七)

五 雜 種.....(七)

六 克 尼 阿 蘭 種.....(七)

七 歐 洲 黑 蜂 種.....(七)

八 東方黃金種.....(七三)

第七篇 蜂的病理.....(七四)

一 下痢.....(七六)

二 春弱及夏弱.....(七七)

三 五月病.....(七七)

四 麻痺病.....(七八)

五 消化器寄生蟲病.....(七九)

六 氣管寄生蟲病.....(八〇)

七 美洲幼蟲病.....(八〇)

八 歐洲幼蟲病.....(八一)

九 假似幼蟲病.....(八一)

第八篇 養蜂器具.....(八四)

一 巢箱及繼箱.....(八五)

一 雙壁巢箱.....(八八)

三 轉運箱.....(八八)

四 交尾箱.....(八九)

五	冬 日 套 箱	.....	(九〇)
六	隔王板與合同板	.....	(九二)
七	脫蜂器與脫蜂板	.....	(九三)
八	蜂王誘入器	.....	(九四)
九	全框誘入器	.....	(九四)
十	面網及手套	.....	(九六)
十一	噴 煙 器	.....	(九六)
十二	蜂 王 籠	.....	(九六)
十三	養 蜂 框	.....	(九六)
十四	蜂王幽閉器及雄蜂捕捉器	.....	(九七)
十五	起刮刀及蜂帚	.....	(九九)
十六	捕 蜂 器	.....	(九九)
十七	巢門飼養器	.....	(一〇〇)
十八	框式飼養器	.....	(一〇一)
十九	箱底飼養器	.....	(一〇一)
二十	繼箱飼養器	.....	(一〇二)

廿一	蜜刀與蒸鍋氣鍋	(一〇二)
廿二	分蜜機	(一〇三)
廿三	裝蠟器	(一〇四)
廿四	溶蠟壺	(一〇五)
廿五	巢礎	(一〇五)
廿六	巢礎機	(一〇七)
廿七	工作坐箱	(一〇八)
廿八	巢脾箱	(一〇八)
<b>第九篇 始業養蜂應有的基礎知識</b>		
一	熱心研究	(一〇九)
二	細心管理	(一〇九)
三	有恒心	(一〇九)
四	簡易設備	(一一〇)
五	選擇蜂種	(一一一)
六	購買蜂群	(一一一)
七	購買群數	(一一二)

八 購蜂時期.....(一三)

九 選擇蜂場.....(一四)

十 蜜源植物.....(一五)

十一 選擇蜂箱.....(一五)

十二 勿急進.....(一五)

第十篇 始業蜂羣管理法

一 開始位置蜂群.....(一六)

二 始業應用器具.....(一七)

三 檢查蜂群.....(一三)

四 看蜂須知.....(一三)

五 巢脾翻轉法.....(一四)

六 蜂螫時的處理.....(一六)

七 巢礎裝配法.....(一六)

第十一篇 養蜂名詞

一 八.....(一八)

第十二篇 蜂群的管理

一 十.....(一四)

一	春季管理法	.....	(一四二)
二	夏季管理法	.....	(一四三)
三	秋季管理法	.....	(一四四)
四	冬季管理法	.....	(一四五)
五	弱群	.....	(一四六)
六	無王群	.....	(一四六)
七	天然分封	.....	(一四七)
八	人工分封	.....	(一四九)
九	防止分封	.....	(一五三)
十	防止疾病	.....	(一五四)
十一	換王	.....	(一五五)
十二	合同蜂群	.....	(一五六)
十三	人工飼養	.....	(一五八)
十四	遷移蜂群	.....	(一六〇)
十五	轉運蜂群	.....	(一六一)
十六	轉地飼養	.....	(一六二)

十七 獵捕野蜂	.....	(一三五)
第十三篇 養蜂的十二個月	.....	(一四〇)
一月——十二月	.....	(一四〇)
第十四篇 人工養王法	.....	(一七一)
一 養王之準備	.....	(一七一)
二 始工及始工群	.....	(一七六)
三 移蟲及移蟲室	.....	(一七九)
四 完成群	.....	(一八一)
五 交尾及交尾群	.....	(一八二)
六 管理	.....	(一八三)
七 選擇	.....	(一八四)
第十五篇 分離蜜採取法	.....	(一八六)
一 採蜜管理的重要	.....	(一八六)
二 採蜜期中注意	.....	(一八七)
A 增加繼箱	.....	(一八七)
B 繼箱深淺的關係	.....	(一八八)

C	使職蜂上升繼箱工作	(一九〇)
三	分離蜜的採取	(一九二)
A	收蜜的時期	(一九三)
B	繼箱內職蜂驅逐法	(一九三)
C	蜂蜜分離法	(一九四)
D	採蜜室	(一九六)
E	分離蜜的處理	(二〇〇)
F	巢脾的處理	(二〇〇)
G	巢脾薰蒸法	(二〇一)
<b>第十六篇 巢蜜的採取法</b>		
一	概論	(二〇三)
二	採收巢蜜期中之注意	(二〇四)
A	育蟲箱內的職蜂	(二〇四)
B	加添繼箱的時候	(二〇五)
C	育蟲箱的處理	(二〇五)
D	加添繼箱法	(二〇五)

E 引蜂上升繼箱法.....(二〇七)

F 成功的要點.....(二〇九)

G 弱群的注意.....(二〇九)

H 蜜勒氏法.....(二一〇)

I 流蜜期末的注意.....(二一二)

三 巢蜜的採取.....(二一三)

A 巢蜜格曲折法.....(二一三)

B 巢蜜格裝巢礎法.....(二一四)

C 巢蜜格裝置繼箱法.....(二一四)

D 加巢蜜箱之時.....(二一四)

E 巢蜜格採收法.....(二一五)

F 巢蜜格的整理.....(二一六)

G 巢蜜格儲藏法.....(二一六)

### 第十七篇 蜂蠟的功用及處理

一 概論.....(二一七)

A 定義.....(二一七)

